

世

世界初、PC端末にH.264ハイプロファイルを搭載、 低帯域でも高画質なビデオ会議を低コストで実現 ～ビデオ会議システム「Visual Nexus ver5.1」を発表～

- OKIは、PCベースの機動性と本格的な映像・音声品質を併せ持つビデオ会議システム「Visual Nexus®(ビジュアルネクサス)」の機能強化を行い、低帯域でも優れた画像でのビデオ会議を可能にした「Visual Nexus ver5.1」の販売を2012年12月より開始した。ここでは、機能強化されたVisual Nexusの特長とともに、会議や研修の効率化に加え、拠点間のコミュニケーションの強化等を目的に2012年2月にVisual Nexusを導入した千葉興業銀行様の導入事例を紹介する。

業務上の様々なコミュニケーションの課題を解決する「Visual Nexus」

遠隔地での会議出張費用削減や移動時間の有効活用、災害・事故発生時のBCP（事業継続計画）対策など、企業でのビデオ会議システムの用途ニーズは多層的に広がっている。OKIが提供している「Visual Nexus（ビジュアルネクサス）」は、PCのデスクトップ上で高品位な音声・映像・データを使ったIPコミュニケーションを実現するビデオ会議システムだ。最大16画面まで表

示可能な多画面分割機能やプレゼンス機能、データ共有などの機能を持ち、SD（Standard Definition）/HD（High Definition）端末が混在する環境にも対応。オフィス内をはじめ、自宅や出張先から“いつでも、どこでも、誰とでも、セキュアに”音声・映像・データを使用したコミュニケーションを実現し、離れた拠点間との情報共有と素早い意思決定を支援。また、ビデオ会議の国際標準規格であるH.323に準拠し、異なるメーカーの会議専用機が混在するような環境においてもサーバや

端末間の相互接続性に優れているので、様々なコミュニケーションの課題を解決することができる（図1参照）。

高品位な音声・映像・データを使ったIPコミュニケーションを実現

Visual Nexusの特長として、次のようなことがあげられる。

多画面でも映像がきれい：ワイド画面（16：9）のHDに対応し、解像度は720P（1280×720）、1080P（1920×1080）の2種類をサポート（1080Pは多地点会議サーバのみ対応）。PCクライアントは最大720Pに対応）。世界最高水準の映像品質による臨場感で、表情のディテールなど、言葉にならないニュアンスまでも正確に伝えることができる。

誰でも簡単に使える：つながりたい相手の在席状況が一目で分かるプレゼンス機能により、オンラインになっている名前をクリックするだけで、ビデオ会議を始めることができる。拠点の呼び出しや会議室への入室は、名前をクリックするだけ。会議

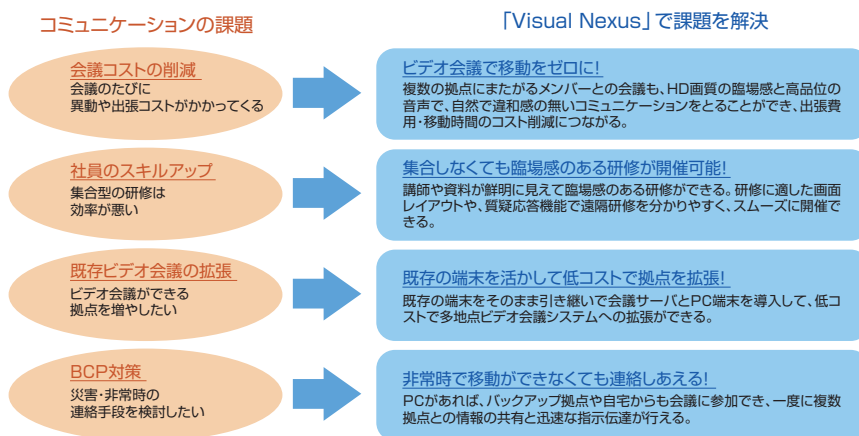


図1 「Visual Nexus」で様々なコミュニケーションの課題を解決

中の資料共有も、共有したいファイルを資料共有アイコンにドラッグ&ドロップするだけの簡単操作で行える。

PC端末も専用端末も接続できる：

Visual Nexusは、専用のPCクライアントのほかに、他社製のビデオ会議専用端末と一緒に使うことができる。参加人数やシチュエーションに合わせて適切な端末を選択することで、端末導入コストの削減も可能だ。

規模拡張も機能アップも簡単に：運用期間の経過とともに、「小規模運用から大規模運用に」、「SD画質からHD画質へアップグレード」、「ソフトウェアのバージョンアップで機能アップ」といったニーズに合わせて、システム規模の拡張や機能向上を容易に実現することができる。

ネットワーク帯域を最大50%削減する「Visual Nexus ver5.1」を発表

OKIは、2012年12月18日より、Visual Nexusの機能強化を行った「Visual Nexus ver5.1」を販売開始

した。Visual Nexus ver5.1は、ビデオ会議用クライアントソフトウェアとして世界初のH.264ハイプロファイルを採用し、ビデオ会議に必要なネットワーク帯域を最大50%削減することで、低帯域でも高品質画像の送受信を可能にした。

ITU（国際電気通信連合）の電気通信標準化部門であるITU-Tによって勧告された動画圧縮規格の一つであるH.264規格上で使用できる様々な映像圧縮機能の組み合わせのセットを「プロファイル」と称している。映像圧縮の目的や用途に応じて複数のプロファイルが存在しているが、「ハイプロファイル」は、高解像度映像のリアルタイム処理を必要とするビデオ会議での映像圧縮をより低帯域で実現することができるものだ。Visual Nexus ver5.1は、H.264ハイプロファイルに対応したことで、ビデオ会議導入に関連した次のような課題の解決を可能にした。

◆ネットワーク帯域の不足によりビデオ会議が導入できなかった、導入

拠点数が制限されてきたお客様でも導入が可能に（図2参照）

◆新たなネットワークの契約や増強を行わずに、既存のネットワーク上でビデオ会議の導入が可能に

◆ネットワーク帯域の制限によりSD画質でビデオ会議を行っていたお客様でも、より鮮明なHD画質での利用が可能に

これらの課題が解決されることで、ビデオ会議システムの導入に伴うネットワークや関連機器への投資コストを抑制でき、システム全体のTCOの削減も可能になる。

なお、今回のVisual Nexus ver5.1のH.264ハイプロファイル搭載にあたっては、NTTメディアインテリジェンス研究所が開発し、NTTアドバンステクノロジー(株)が商品化した軽量低遅延H.264ソフトウェアコーデックを採用。そのSDK（Software Development Kit）を利用することで短期間での製品化を実現することができた。

その他にもVisual Nexus ver5.1には、次のような新機能が搭載されている。

- ・ PC用ビデオ会議クライアントに、高音質な音声コーデックであるMPEG4 AAC-LCを搭載
- ・ ビデオ会議の予約時にVisual Nexusビデオ会議録画サーバの自動録画設定が可能になった
- ・ Visual Nexus多地点会議サーバのWebポータルサイトを改良し、会議の予約状況が端末やアカウントごとに確認できるようになった

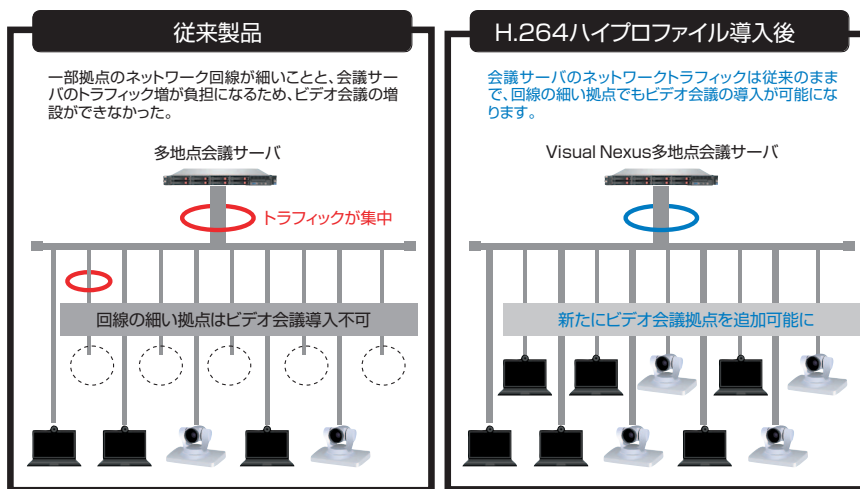


図2 「Visual Nexus ver5.1」によるビデオ会議拠点増加の例

【導入事例】株式会社千葉興業銀行 全店一斉に利用を開始して 会議・研修の効率化と リアルタイムな情報配信を可能に

株式会社千葉興業銀行（以下、ちば興銀）は、千葉県内を中心に計72の営業店を通じて、地域に根ざしたビジネスと多様な金融商品・サービスを提供している。2011年4月からは、中期経営ビジョン「ちば興銀“変革・成長”戦略」に基づく戦略施策を積極的に展開し、「地域のお客さまのベスト・コンサルタント」、さらには「選ばれ続け、地域・お客さまになくてはならない絶対的存在感のある銀行」を目指している。

ちば興銀では、事業基盤の強化と業務の合理化に向けた取組みの一環として、これまで集合型や出張型で行っていた会議や研修の効率化を図ることと、BCP対策として災害・非常時の連絡手段として、2011年4月頃から、ビデオ会議システムの導入を検討開始した。

「ビデオ会議システムの導入にあたり、最も重視したポイントは『安定稼働』でした。例えば、システムにトラブルが発生した場合だけでなく、日頃から使い方などをサポートいただけるメーカーから導入したいと考えました。そこで、当行に仮想化技術によるサーバ統合プラットフォームを納入いただき、システム運用の統合と簡素化によるコスト削減等の実績を持つOKIのビデオ会議システム（Visual Nexus）を軸に検討を進め、他の金融機関の事例等を参考にしながら、Visual Nexusの採用を決定し2012年2月から導入を開始しました。」（株千葉興業銀行 総合事務部 企画担当 小野真理子氏）

導入は、低コストで容易に拠点を拡張できるVisual Nexusの特長を活かして、2ヶ月ほどで完了した。

「2012年4月から、全72営業店で一斉に稼働を開始しました。当初は、本店と営業店との1対1による事業相談からはじまり、続いて、テレビ会議システムのリアルタイム配信機



（株千葉興業銀行 総合事務部）
 【左】企画担当 副調査役 粒良 浩子氏
 【右】企画担当 小野 真理子氏

能により、本店から各営業店への情報配信や、新しい金融商品・サービスの説明に活用しました。そして、専門の講師を招いた講習会を開催するなど、活用法が広がっています。今後は、営業店の窓口におけるお客様サービスでも活用する予定です。」（株千葉興業銀行 総合事務部 企画担当 副調査役 粒良浩子氏）

ちば興銀では、ビデオ会議システムの導入効果としてコスト削減等をあげている。

「これまで会議・研修の際の移動にかかっていたコストは大幅に削減されていると思います。また、営業店のスタッフからは、研修等を業務時間内で行えるようになったので、『時間を工夫して使えるようになった』との声があがっています。」（小野氏）

総合事務部（本店）



会議室／営業店の担当者の映像
 自身（本店）の映像

総合事務部（本店）の画面



◆ 在席状況
 コンタクトリスト上でオンラインになっている相手の名前をクリックするだけで、ビデオ会議を始めることができる。

◆ データ共有
 会議中に資料を共有したいときは、対象のファイルをデータ共有アイコンにドラッグ&ドロップするだけで自動的に資料が画面上で共有される。

図3 本店（総合事務部）と会議室や営業店との会話の様子

●お問い合わせ先●

沖電気工業(株)
 通信システム事業本部
 企業ネットワークシステム事業部
 ビジュアルネクサスBU 営業チーム
 TEL：03-5445-6012
 E-mail：info-jp@visualnexus.com
 URL：http://www.oki.com/jp/
 visualnexus/